

平成30年度 第1回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第4号 平成30年3月31日付け退職者、平成30年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について</p>	<p>退職者、転出者、転入者等を報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第5号 垂水市立学校管理規則の一部改正について</p>	<p>垂水市立学校管理規則の一部改正をしたことについて、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第6号 平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について</p>	<p>平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第7号 平成30年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について</p>	<p>平成30年度垂水市地区公民館の館長・主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

平成30年度 第 1 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成30年4月9日(月)</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後4時15分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 紺屋 昭男</p> <p>学校教育課長 明石 浩久</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成30年度第1回教育委員会定例会を開会した。

2 平成29年度第12回定例会及び第2回臨時会会議録の承認

承認

3 議 事

- 報告第 4 号 平成30年3月31日付け退職者、平成30年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について
- 報告第 5 号 垂水市立学校管理規則の一部改正について
- 報告第 6 号 平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について
- 報告第 7 号 平成30年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 4 号
	平成 30 年 3 月 31 日付け退職者、平成 30 年 4 月 1 日付け教育委員会職員
	及び小・中学校教職員定期人事異動について
教育総務課長	退職者、転出者、転入者等を報告するものである旨、及びその内容につ
	いて報告。
	(質疑なし)
	報告第 5 号
	垂水市立学校管理規則の一部改正について
学校教育課長	垂水市立学校管理規則の一部改正をしたことについて、その内容につ
	いて報告。
野村委員	就学の事務手続きに係る名称の変更及び様式の改正と追加ということ
	をポイントに改正したということで良いか。
学校教育課長	はい、そのとおりだ。
	今まで不備だったものを整備したということだ。
野村委員	これは、垂水市だけではなくて他の市町村もやっていることか。
学校教育課長	そのとおりだ。
野村委員	学則などそういったものにより、市の規則を改正するものか。
学校教育課長	そのとおりだ。
	報告第 6 号
	平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について
学校教育課長	平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、その内容につ
	いて報告。
田原委員	特別支援委員の委嘱については何も問題はない。
	学校訪問に行って支援員がどういうふうな子どもへの接し方が良いのだろ
	うか、担任との関係とかを少し疑問に思ったり、良い関係だなど思ったり
	することがあるが、この方々も研修とかそういったものをしっかりやって、
	自信をもって特別支援員に関わっていただきたい。
学校教育課長	4 月 6 日の日に午後から委嘱状を交付して、その後、寿山指導主事を中
	心に研修会を実施した。年度初めの注意事項や初めて採用される方もいる
	ので情報交換や意見交換の機会とした。また途中でもう一度何らかの形で
	研修会を充実させていく。
田原委員	この方々自身も、やっていくうちにどうなるのだろうかという疑問を持つこ

	ともあるので、情報交換をしたり、お互い研修したりすることが大事ではないか。
野村委員	支援員の研修はどんな形で今までやってきたのか。あったのか無かったのか。あるいは学校内で処理されるのは処理されるはずだが、専門的なものが必要であるのか無いのかという問題はあるが、今まではどうだったか。
学校教育課長	市教委としての研修兼情報交換会は年2回やっている。また、校内で役割分担をしている。
教育長	支援の役割は生活と学習の2つであるのか。
学校教育課長	そのとおりだ。業務内容以外の仕事が支援員にいかないように校長方にもお願いしている。
野村委員	それは大事だ。つい手が空いているからこれをやってくれとお願いすることもあるから。 新城小と松ヶ崎小は支援対象になる児童はいないということか。
学校教育課長	そのとおりだ。各学校からの配置の希望がなかった。
野村委員	はい分かった。
中谷委員	知り合いの支援員がいて、支援員をやれることに大きな喜びを感じていた。頑張りますからねと言われた。
社会教育課長	報告第7号 平成30年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について 平成30年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について、その内容について報告。
社会教育課長	館長・主事については各地区からの推薦という形で社会教育課に推薦者名簿を出していただき、教育長と相談して専決で決めている。地元の意見を尊重するというのが趣旨だ。境地区の館長が今年も空欄となっているが、主事においても地区の運営委員会等で、館長を決めてほしいと願したが決まらなかった。社会教育課としても今後お願いしながら、時間をかけて少しずつ少しずつ進展していければと考える。
田原委員	館長、主事の後継者育成についてはどの地区も思うところがある。特に主事についてはパソコンができて、文書を作ってという業務もあり、臨採というか地元だけではできない状況がある。あと、待遇的なところもあり、なかなか難しい問題だと思う。
社会教育課長	3月上旬、公民館連絡協議会があった。社会教育課より提起をその他でさせてもらい、主事さん方の待遇面で、今の状態は社会保険もついていな

	<p>い。厚生年金もかけられない。もしそういったことができれば、主婦の方でも「できるよ」という方もいらっしゃるのではないかとその場でも提言をいただいている。今、各市の状況等を調査しながら公民館連絡協議会で時期をみてお諮りするとして、先般の公民館連絡協議会でなった。とりあえずは、地元で人材発掘をしてもらい、福利厚生の方もしたいと思っている。主事本来の仕事以外に他の団体や市の関係などいろいろな仕事が増えている。鹿児島市などはコミュニティとは区別しながらやってきている。時代的にもいろいろな動きがあるので研究しながら、今後の垂水市の人口構成など考えながら、どうあるべきかを考えていかなければならない時期に来たのではないかと考える。</p>
田原委員	<p>この件は、改選の時だけではなく、選考委員会を定期に開催したり、この人はという方に公民館活動に参加してもらったりするなど年間を通して考えていかなければならないと思う。</p> <p>公民館連絡協議会でも定例の協議が済んだら、ざっくばらんに語れる時間を作って情報交換をしてもらいたい。</p>
教育長	<p>すぐにできる問題でもないので、教育委員会でもじっくり取り組んでみたいと思う。</p>
4 その他	
教育総務課長	<p>教育委員会歓迎会の案内と鹿児島県教育行政説明会への教育委員の出席をお願いする。</p>
学校教育課長	<p>平成 30 年度の全体児童・生徒数及び各学校の児童・生徒数を報告した。</p>
5 委員並びに教育長及び課長報告	<p>委員並びに教育長及び課長報告</p>
教育長	<p>委員並びに教育長及び課長報告に入る。</p>
野村委員	<p>1. 「新年度のスタートについて」</p> <p>年度が変わり、第一回の教育委員会である。各課スタッフが大きく変わった。われわれ教育委員も含めて教育委員会全体が坂元教育長を中心にして、今まで以上に皆で力を合わせて取り組んでいければと願っている。我々の顔ぶれは変わらないが、今年度もよろしくお願したい。</p> <p>2. 「卒業式、入学式について」</p> <p>3月22日(木曜日)新城小学校入学式、4月6日(金曜日)協和小学校入学式に参列した。新城小学校卒業生1名、協和小学校入学式4名であった。卒業式、入学式をまとめて報告する。</p> <p>毎年思うことだが、新城小、協和小と2校は人数的には少ない状況の中での式典であった。小規模校では特に地域の皆様の協力と言うか、心温か</p>

い支援、心遣いに触れて、いつも胸にじんと来るものがある。地域の協力支援というすばらしい地域力であると思う。特に新城小は1人の卒業式でありながら、内容的には大変充実したもので「卒業生1人でもこんなにボリュームのある式典ができるのだ」と心から満ち足りた気持ちになった。特に卒業式においては市内すべての小・中学校について言えることだが、在校生一人一人が自分の分担をしっかりと果してゆく能力、またその自覚と言うか、その懸命に取り組む姿は、大変けなげで立派であった。日頃の指導の賜物である。

田原委員

1. 「松ヶ崎小卒業式について」

3月22日(木)男子1名の卒業式であったが、多くの地域の人々の参加のもと、式にボリュームがあった、とてもアットホームな卒業式であった。校長先生の心のこもった式辞、卒業生1人と在校生の掛け合いのお別れ式の言葉は、卒業生のほうが大変だったとは思いますが、長い言葉をしっかりと覚えており、在校生の中には涙声で送る言葉を述べていた児童がいて、下級生に慕われていた様子がよく分かった。

2. 「水之上小入学式について」

22名の新生で、水之上小では最近にない大人数で、児童も明るく堂々としたあいさつができていた。校長先生の式辞と教育委員会の告辞で「あいさつができる子になりましょう。」の部分で重なる部分もあったが、それぐらい大事だよという意味で良かったのかなと思った。

3. 「垂水中央中入学式について」

厳粛な中にも、どこか初々しい1年生の姿がほほ笑ましかった。緊張のあまり気分が悪くなったのか椅子にもたれかかった生徒もいたが、この生徒たちが半年経ち、1年経つと後ろに座った2・3年生のように身動きもせずに話が聞ける生徒になっていく。先生方の指導や先輩たちの感化はすごいと思う。その変化を今後楽しみにしていきたい。

中谷委員

1. 「3月から4月初めの出来事について」

3月から4月、私は空港に何度か行った。新しい出発の見送りや迎えなど。周りには花々が咲き、何だかみんな忙しくしているように見えた。

今年は3月に地域の小学校の校長先生が、ご退職ということで学校、PTA、地域の皆さんでお祝いをした。長い間のご苦勞をずっと支えてこられた奥様も一緒に会食をした。泣いたり笑ったり、とても良い時間を皆さんと一緒に過ごせた。やはり学校は校長先生が元気でないといけないと思う。地域にとって学校は、灯りと言うか、期待の星と言うか、学校が元気だと地域住民も元気でいられる。卒業式に皆で歌う校歌にじんときて児童・生徒のそばに置いてもらえることが、私にとって幸せを感じることであった。

4月1日(日)に地域の保育園の学童の開会・落成式があった。まだまだ定員には及ばないようだが、徐々に増えて「皆さんの居場所として児童が安全に生活できれば良いな」と願うことであった。

	<p>2. 「垂水中央中入学式について」</p> <p>4月6日（金）の入学式での中、式の途中で私の席から見える女子生徒が自分の椅子にうずくまっているのが見えた。きちんと確かめようとして、田原先生にお伝えしていたら、後ろの席に座っていた小学校の校長先生も「あの生徒は大丈夫でしょうか？」と言われたので勇気を出して中学校の先生方の方に向かって挙手をした。すぐに先生方が気付いてくださり、その生徒に駆け寄ってくださった。大事には至らず安心した。式典では何かあったときのために、先生方を複数配置して生徒へ目を配ることも大事なかなと思った。</p>
葛迫委員	<p>1. 「協和小学校卒業式について」</p> <p>卒業生男子5名、女子1名、合計6名の第71回協和小学校卒業式が3月22日（木曜日）開催された。今年は例年になく桜の開花が早く協和地区の里山の山桜が満開といったところ、前日までの雨から天気も回復し、卒業生のこれからの進路を喜んでいるような卒業式だったのではと思った。</p> <p>校長先生の式辞の中で「今日の卒業生には悲しい思いをさせた。」それは、この子たちが4年生の時に、担任の林信枝先生が病気で亡くなられたことに触れられ、悲しみを乗り越えながら、子どもたちは非常にたくましく成長したことを涙ぐんで話されたことがとても印象的であった。また、「ピョンチャンオリンピック女子カーリングで銅メダルを獲得したLS北見チーム」の5人の選手たち「そだねー」の言葉にも触れられ、よく聞いていると「そだねー」には相手の意見を大事にする意味がある。自分だけの意見だけではなく相手の意見も聞いてあげている。自分の良さや他人の良さに気づき「やさしい子・助け合う子」になってほしいとエールを送っていた。すばらしい卒業式であった。</p> <p>2. 「境小学校入学式について」</p> <p>男子1名、女子1名、合計2名の新1年の平成30年度境小学校の入学式が4月6日（金）開催された。まだあどけないが元気な新1年生を迎えての入学式が始まった。朝からの強い雨のため地域の皆様の出席を心配していたが、参加された保護者や地域の方々に二人の新入生は快く祝っていただいた。お祝いの品贈呈では「黄色い傘」が登下校時の安全に「特に雨の日は気を付けて」と新入生に送られ、新1年生はとても喜んでいた。</p>
教育長	<p>1. 「人事異動について」</p> <p>学校関係、市の人事関係があり100点満点の人事は先ず無いということを経験した今回だった。しかしながら、頂いたよい人材をどう生かして、どうカラーを出して、よい学校を作ってもらうかに心を注いでもらって結果として出したいと思うところである。私自身も気持ちを新たに頑張りたいと思う。また、教育委員会においても2名の課長が代わったので、3課長で協力して、私も含めて良い仕事をしていきたいと思う。</p> <p>2. 「卒業式、入学式について」</p> <p>卒業式、入学式にご協力いただきありがとうございました。心温まる卒</p>

業式、入学式が出来たのではないかと思う。卒業式でなるほどな、と思った学校があり、こういう使い方もあるのだと思った。それはICTを使い、卒業証書をもらう表情を映し出していた。水之上小で一人一人の笑顔や緊張など子どもたちの表情が見られて来賓、保護者、地域の皆さんに非常に好評であった。見事な演出であった。これは他の学校でも是非やってもらいたいと思うことであった。中学校の卒業式では、横から生徒の様子を見ることができ、にこやかな表情で証書を受け取る姿に「この子は校長先生が好きなんだ」と思えた。それをまさに可視化したのが水之上小学校だったわけで、まさにリアルタイムに映像で伝えることは大事なことだと思った。

先ほど、地域に支えられ、地域力という言葉がありました。牛根小学校もそうであった。保護者、来賓合わせて40名ぐらい見えていた。式の前日に地域の放送で卒業式、入学式があることが流され、また、文書でも配られており、それが大事なのかなと思うところであった。終原小の卒業式では「ピョンチャンオリンピック」とか校長が式辞で話すのではなく、二人の子どものこと、成長を語っておられた。しかも前の校長から取材をしたことも含まれていた。強く胸に迫るものがあった。

中学校の卒業式でも生徒の3年間の姿をつづられた。まさにこれだと思った。中学校の入学式は校長が代わり、それぞれの校長の思いが式辞に込められ、きっと良いバトンタッチができたのではと思うところで、これからが楽しみだと思っている。

3. 「あいさつ運動での出来事について」

交通安全やあいさつ運動が始まっている。今朝非常にうれしかったことがあった。地域の方々も出てこられ、中学生の何人かに声をかけた。何年生かなと尋ねたら、「3年生です」と返事があり、「いよいよ受験だね」と言ったら「そうです。がんばります」と笑顔で答えてくれた。「頑張りなさいよ」と背中を押したくなる、すがすがしい思いになった。

4. 「今年一年の思いについて」

最後に、私の思いであるが「気持ちを形に」ということを、自分の信念としてこの一年取り組んでいきたいと思う。気持ちというのは「思いや・願い・考え」であり、それを形にしていきたいと思っている。3課長それぞれが垣根を低くしながら情報を共有化して、コミュニケーションを増やしながら「チーム教育委員会」で委員の皆様力もお借りしながらやっていきたいと思う。誠実に、謙虚に、前向きにやっていけば何とかできるのではと思っており、それが結果、信頼を厚くして行くのかなと思っている。3課長ともども頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

3月14日から4月10日までの主な行事等について報告。
併せて、5月10日までの行事予定、及び詳細についてお知らせした。

6 閉 会